



編集後記

編集顧問	町田豊平	小川秋實	秋元成太
	村井 勝	郡健二郎	藤岡知昭
編集委員	大家基嗣	近藤幸尋	小島祥敬

小職の医局でも4月に新入医局員を迎えたわけですが、5月に入ると「5月病」なるものに注意を向けなければならない立場となりました。本来、「5月病」は大学の新入生が5月の連休明け頃から急激に無気力、無関心になることから名づけられましたが、時期は5月に限らず、また対象は大学生に限らず、中学生・高校生や新入社員および医局員にもみられます。新年度の4月には入学や就職、異動などによって生じる新しい環境への期待とやる気があるものの、その環境に適応できないということもあるでしょう。そして、人によってはうつ病に似た症状がしばしば5月のゴールデンウィーク明け頃から起こるためにこの名称となっています。

この症状に近いものとして、「サザエさん症候群」というものも存在します。これは日曜の定番のテレビ番組を観た後に、「明日からまた通学・仕事をしなければならない」という現実と直面して憂鬱になり、体調不良や倦怠感を訴える症候群です。これは日曜のテレビであれば「サザエさん」に限らず、「笑点」であろうが「大河ドラマ」や「情熱大陸」でもいいようです。

これらは「ブルーマンデー症候群」の一系ともいわれています。誰でも休み明けの月曜日の朝は仕事に行くのが億劫になります。ある統計によりますと、会社を最も休みたくなるのは月曜日であり、仕事のミスは月曜日の午前中に集中しているようです。また、厚生労働省のデータでは、自殺者は月曜日が最も多く、土曜日が最も少ないようです。これには、休み明けの通学・通勤に強いストレスを感じたり、通学・通勤の人を見ることにより疎外感を受けることが要因のようです。

われわれの世代では、月曜日から地雷を踏まないようにいかに仕事をこなすかを考えており、先送りにしたい気持ちは確かにあったものの、月曜日になると憂鬱に思う余裕もなかったと思います。現在はいろいろと便利になったからこそ、個に対する負担も増え、ストレスの要因になっているようです。職場におけるメンタル管理や個々へのメンタルフォローも重要な仕事となってきています。まずは月曜日の午前中のフォローが、安全管理および危機管理に結びつきそうです。かという小職も統計に基づいて行動しているわけですが。

(近藤幸尋)

臨床泌尿器科 (第70巻 第6号) (通巻836号)
2016年5月20日発行 (毎月1回20日発行)

定価：本体2,800円＋税

2016年年間購読料 (増刊号を含む13冊, 送料小社負担)	
冊子版	39,840円＋税
電子版/個人	39,840円＋税
電子版/共有	45,840円＋税
冊子＋電子版/個人	44,840円＋税
冊子＋電子版/共有	50,840円＋税

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709

(担当：金子・安部)

販売部直通 (03) 3817-5659

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 ㈱双文社印刷 電話 (03) 3973-6271

広告申込所 ㈱文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2016. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

* 「臨床泌尿器科」は株式会社医学書院の登録商標です。